



〒921-8845

石川県野々市市太平寺四丁目156番地

TEL 076-248-8099

FAX 076-248-8175

<http://www.kaleido-nono1.jp>



【交通アクセス】

- JR野々市駅から
・コミュニティバス のっティ北部ルート
「野々市駅南口」乗車、「フォルテ」下車徒歩5分
・シャトルバス のんキー「野々市駅南口」乗車、
「フォルテ」下車徒歩5分
・車で約2.5km
- JR金沢駅から
・北鉄バス9番乗り場にて40番・41番・42番に乗車、
「太平寺(たへいじ)」下車徒歩5分
・車で約7km
- 北陸自動車道
・白山ICから 車で約6km
・金沢西ICから 車で約6km
- P 無料駐車場 約130台
(うち、車椅子、マタニティ専用4台) 駐輪場 有

※施設内にあるコミュニティバス のっティのバス停
「カレード」もご利用ください。



学びの杜のいちカレード
kaleid



市民の学びと文化・芸術・創造、情報発信、市民協働におけるシンボルとして、野々市市立図書館と市民学習センターの複合施設「学びの杜ののいちカレード」が、誕生いたしました。

この施設は、官民連携による整備手法により、随所に工夫が盛り込まれた新しい形の生涯学習施設となっております。1階から2階天井までの国内初の「ブックタワー」を設置した図書館と、市民学習センターでは美術や音楽などの芸術文化や料理の創作活動、そして屋外の憩いの広場では交流活動に取り組むことができます。

中から、外からと様々な表情を見せる「カレード」を、その名前の由来である「万華鏡(カレドスコープ)」のとおり、集い、学び、交わる市民が、光り輝く賑わいの拠点として、大にご活用いただくことを心から願っております。

野々市市

k a l e i d カレード

カレードは英語Kaleidoscope(万華鏡)に由来します。kalós(美しい)+eîdos(かたち)というギリシャ語がその語源です。

図書館は万華鏡のようにいつもその様相を変えます。しかも、いつも美しいものです。その様相を創り出すのは、多彩な内容をもったたくさん本であり、それぞれに個性をもつ市民です。

本と人、人と人が交わり合って、市民が光り輝き、まちが美しくにぎわう、そういう施設でありたいとおもいます。

パオについて

「学びの杜ののいちカレード」の内部空間のシンボルとなるパオ(昇降幕)には、野々市の原風景の『ののいちの輪』、森羅万象の『世界の輪』が描かれています。野々市市出身のアニメーション監督・米林宏昌氏がこの図書館のために原画を描いてくれました。米林監督の絵が描かれた布地がビックカーテンのように上下して子どもたちを包み込み、この野々市らしい風景を記憶に刻みます。

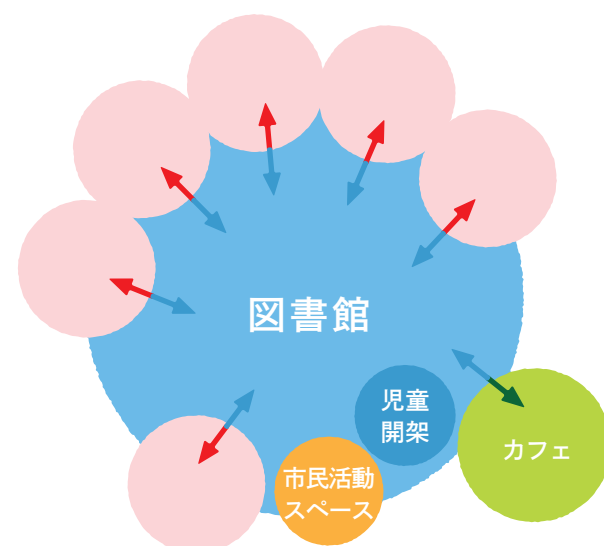


学びの杜のいち カレード 市民の新しい生涯学習の場

学びの杜のいちカレードは、図書館と市民学習機能が融合した、新しいかたちの生涯学習施設です。

本がある図書館を、集う、学ぶ、奏でる、創る、観る、発表する、憩う機能が取り囲み、誰もが楽しく、学び合することができる、これまでに例のない施設です。

学びの杜のいちカレードとは



図書館を核において、市民が協働するための市民学習機能の多様な機能を用意しました。

エリアガイド

開架スペースを囲む学び、楽しむ場

集い、学ぶ、奏でる、創る、観る、発表する、市民のみなさんの活動の場が、開架スペースが囲むようにあります。

学びの中心としての開架スペース

たくさんの本がある開架スペースがこの施設の中心です。
1階ではパオを囲む子どもの本、広場が望める文学系のスペース、市民活動の場に囲まれたエリアには、ノンフィクションのスペースが緩やかにつながります。
全体を見渡すことができ2階に青少年のスペースがあります。





児童図書スペース

米林宏昌監督のイラストに包まれるパオでは、おはなし会が実施されます。またパオの周囲には、児童図書スペースが広がり、絵本や児童書が子どもたちを新しい世界にいざないます。



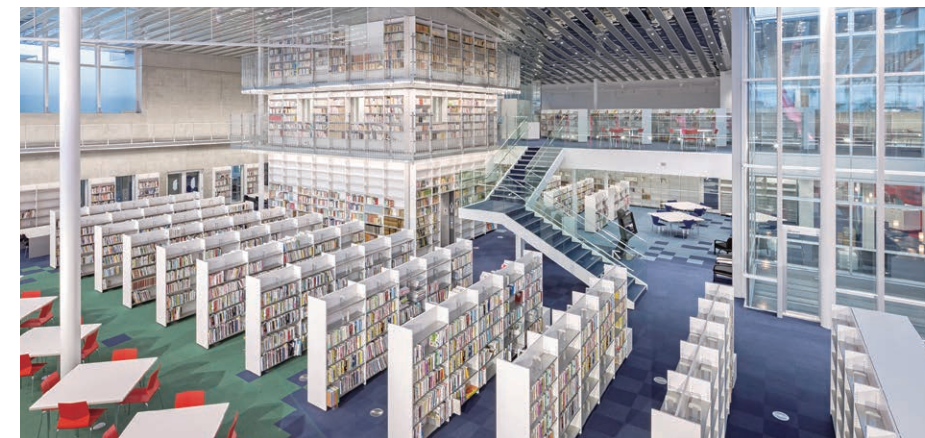
レファレンスカウンター

西側入り口近くにレファレンスカウンターを設置し、利用者の課題解決のお手伝いをします。また、レファレンスカウンターでは、PCによる座席予約もでき、電子新聞や電子書籍も見ることのできる20台のタブレットの貸出もします。



一般図書スペース

大空間に広がる最大収蔵数25万冊の蔵書が知の拠点を支えます。すべての書架は、スラブ固定され、防災上も安心です。耐震壁を活用した2本のそびえるブックタワーの上部は、見える閉架書庫としての役割を持ち、すべて出納可能です。また、ブックタワー上部棚には、落下防止バーも付き、安全対策を施しています。



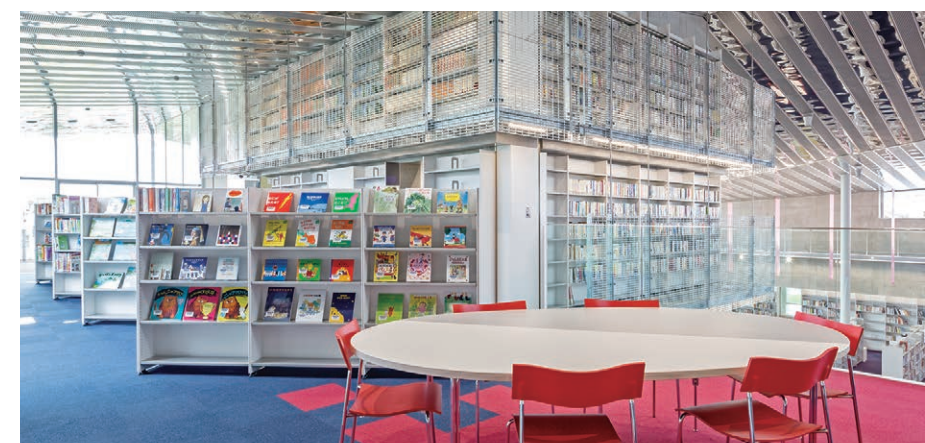
サイレントコーナー

ブラウジングコーナーに書架等に囲まれた静寂ゾーンを設置し、ゆっくり読書できる空間を用意します。また、傍らには電子新聞サイネージも設置しており、情報サイネージと合わせて、情報拠点になります。



ヤングアダルトスペース

野々市市の次世代を担う青少年のために関連書籍を用意し、予約利用できる学習室や多様な閲覧席を用意しました。BGMとして、自然音が流れ、落ち着いて読書や学習ができる空間です。





B



C

A キッチンスタジオ

ママ友たちが、料理をつくりながら、食べながら、お茶を飲みながら情報交換ができ、クッキングレッスンができるような、明るく清潔感あふれるスタジオです。

・床面積96㎡ ・収容人数20人程度

B 研修室・会議室

会議、研修、講座、セミナー、ワークショップなどに利用できます。

・床面積：143㎡(2分割可) ・収容人数：100人程度

C ホワイエ

会議や研修の前後の寛ぎ、交流のスペースに、各種掲示やチラシなども備えます。持ち込み飲食可能なスペースです。

・床面積73㎡

D 音楽スタジオ

楽器の演奏やコーラス、バンド、ダンス、演劇等の練習やリハーサル、発表会、映写会など小規模な催事にも利用できます。

・床面積：123㎡ ・収容人数：50人程度



D



A



G



E



F

E 創作スタジオ 1 [工房]

絵画や書道、染色、アート系ワークショップや生け花などの創作活動のスタジオとして、科学実験などの教室にも利用できます。

・床面積：79㎡ ・収容人数：24人程度

F 創作スタジオ 2 [陶芸]

陶芸の制作・教室、木工の制作などの創作活動のスタジオとして、また各種教室としても利用できます。

・床面積：89㎡ ・収容人数：24人程度

G 市民展示室

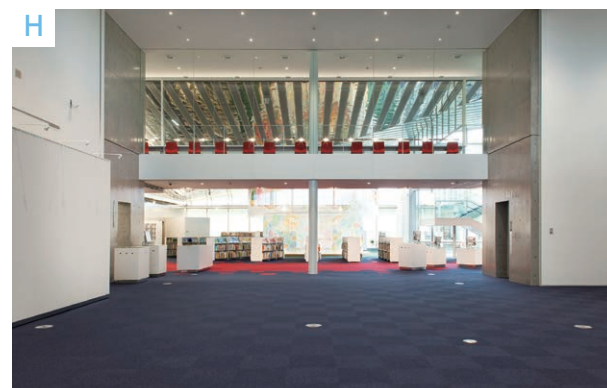
絵画、彫刻、インスタレーション、デザイン、クラフト、工芸、書、写真、映像、生け花等の幅広い芸術表現の作品展示ができるほか、ワークショップなどにも利用できます。可動間仕切りにより閉じた展示室としても、オープンギャラリーと一体にした開かれたギャラリーとしても利用できます。

・床面積：233㎡ ・天井高：4.5m ・収容人数：100人程度

H オープンギャラリー

絵画、彫刻、デザイン、クラフト、工芸、書、写真、生け花等の幅広い市民の作品展示ができる開かれたギャラリーです。

・床面積：244㎡ ・天井高：6.9m



H

設備案内



サービスカウンター

館内のご案内、市民学習センターの各施設の使用許可申請の受付などができます。読書手帳や電子図書館サービス、複写サービスの受付等も行います。



自動貸出

利用者カードと借りたい本等をご持参いただき、ご自分で貸出手続きがスムーズにできます。



予約棚

入口の案内機で、自分が予約した本のある棚を確認でき、棚から本を取り出して自動貸出機で貸出の手続きを行うことができます。



PCブース

PCブースにはインターネット用の座席が4席あり、1回1時間ご利用できます。



電子新聞

人感センサー付きのパリアフリーデジタルサイネージの大画面で新聞記事を読むことや地方紙も閲覧可能です。



デジタルサイネージ

オープンギャラリーの前とホワイエに「デジタルサイネージ」と呼ばれる電子看板が設置され、館内案内や催し物案内等の情報を発信していきます。



自動返却

返却ポストの自動返却機投入口に返却本を入れると、自動的に返却処理が行われます。



学習席

静かに学習できる席が40席あります。利用時間は、最大3時間までです。学習室前とレファレンスカウンターの受付機にてご自分で座席予約ができます。



AVブース

AVブースには視聴覚資料用の座席が10席あり、1回1作品視聴することができます。



カフェ・ぶどうの木

心と身体を豊かにする学びの場のカフェとして、「カフェ・ぶどうの木」が併設。軽い食事のほか、自慢のスイーツやドリンクをご用意。テイクアウトもできます。

学びの杜ののいちカレードについて

● 利用案内

【開館時間】 9:00～22:00 【休館日】 毎週水曜日、12/29～1/3、特別整理期間(図書館のみ)

● 事業概要

発注方式	PFI方式(BTO)
事業名称	野々市中央地区整備事業
建築主	野々市中央まちづくり株式会社
施工	フジタ・豊蔵組・清水建築特定共同企業体
工事期間	2016年8月1日～2017年7月31日
施設概要	敷地面積 18,822.8㎡ 建築面積 4,806.99㎡ 延べ面積 5,695.76㎡ 建物高さ 10.105m 収蔵可能冊数 約25万冊

● 構成企業

■ 大和リース株式会社
〒540-0011 大阪府大阪市中央区農人橋2丁目1番36号

■ 株式会社梓設計
〒140-0002 東京都品川区東品川2-1-11

■ 株式会社三上建築事務所
〒310-0062 茨城県水戸市大町3-4-36 大町ビル2階

■ 株式会社フジタ
〒151-8570 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2 修養団SYDビル

■ 株式会社図書館流通センター
〒112-8632 東京都文京区大塚三丁目1番1号

■ 株式会社アイビックス北陸
〒921-8013 石川県金沢市新神田5丁目2番3

■ 株式会社豊蔵組
〒920-0867 石川県金沢市長土塀3丁目13番8号

■ 株式会社清水建築
〒921-8815 石川県野々市市本町1丁目22-20

■ 太平ビルサービス株式会社
〒920-0919 石川県金沢市南町2番1号

● ロゴマークについて

筑波大学西川潔名誉教授によるデザイン。花のようでもあり、折鶴のようにも見えます。デフォルメするとさらに多様な姿が浮かびます。また、ダイナミックな建物の姿も見えてきます。まさにそれは、Kaleid(万華鏡)なのです。



● 野々市市について

野々市市は、石川県のほぼ中央に位置し、山・海のない全くの平坦地です。市の人口は55,099人(平成27年10月1日現在)。市は、東洋経済新報社が発表した2017年版全国「住みよさランキング」で算出する指標のうち、「利便度」がランキングの対象となった2012年から6年連続で1位となり、総合は5位と評価されました。